令和２(2020)年度
とちぎの元気な森づくり県民税事業
評価報告書

令和３(2021)年 11月
とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会

目次

Ⅰ　評価結果　・・・

Ⅰ　評価結果

とちぎの元気な森づくり県民税事業の透明性・公平性を確保するため、令和２(2020)年度事業の執行状況や効果について検証、評価を行った。

県は、今回の評価結果を十分に踏まえ、県民の皆様の理解と協力のもと、今後の事業を推進されたい。

◻ 総合評価

○ 令和２(2020)年度とちぎの元気な森づくり県民税事業については、重点取組である森林の若返り（皆伐後の再造林等）をはじめ、各事業とも適正かつ着実に実施され、本県森林の公益的機能の維持増進に効果を発揮した。

○ とちぎの元気な森づくり県民税事業と森林環境譲与税事業の取組は、本県の森林・林業の課題に対応し、適正に実施されていた。

◻ とちぎの元気な森づくり県民税事業の評価

1.　とちぎの元気な森づくり未来の森整備事業

針葉樹林の皆伐後の再造林や広葉樹への樹種転換等、森林の若返りを支援するものであり、計画425haに対して実績386ha(実施率90.8%)の再造林・樹種転換が行われていた。

なお、昨今のカーボンニュートラル・SDGs等の時代の潮流を鑑みても、森林の若返りの重要度は一層増しており、今後も森林の若返りを着実に進めていくためには、施行地の集約化の促進、生産性向上に向けた取組が重要と考える。

2.　とちぎの元気な森づくり里山林整備事業

地域団体等が行う里山林の整備を支援し、住民の生活環境を保全するものであり、通学路の安全確保や獣害対策などを目的に、すべての市町で計2,532haの整備・管理が行われていた。

なお、今後ともこうした活動を継続するには、担い手の高齢化、後継者不足といった地域の実情にどう対応していくかが課題と考える。

□ とちぎの元気な森づくり県民税事業の評価

3.　とちぎの元気な森づくり森林所有対策事業

境界や所有者が不明な森林の境界等を明確にし、森林を適正に管理するための基盤を整備するものであり、栃木県森林組合連合会による地籍調査事業（3市町3地区818ha）のほか、拡充する2,000haの事業計画策定についても支援が行われていた。

また、地籍調査は、昨年度に引き続き、航空レーザ計測を活用し、所有者の立会や測量作業の効率化が図られていた。

なお、今後もデジタル技術の活用により、林地の地籍調査を円滑かつ迅速に進めていくことが重要であると考える。

□ とちぎの元気な森づくり県民税事業と森林環境譲与税事業の一体的評価

とちぎの元気な森づくり県民税と森林環境譲与税については、本県の森林・林業における課題に対応した取組内容となっており、令和元（2019）年度の使途の整理に基づき、適切に実施されていた。

なお、森林環境譲与税の執行率については、県・市町ともに前年度より向上しているが、県の86.8％に対し、市町は32.5％で、残る７割弱が基金積立金となっているため、市町における森林経営管理制度の円滑な運用と森林環境譲与税の効果的な活用に向け、今後も県の積極的な支援が重要と考える。

Ⅱ　とちぎの元気な森づくり県民税事業の評価

ⅰ　基金及び財源

1　とちぎの元気な森づくり基金の状況

（単位：千円）

令和元年度末残高 A	積立額 B	取崩額 C	令和2年度末残高 A＋（B－C）
924, 639	873, 695	646, 936	1, 151, 398

【積立内訳】　（単位：千円）

区分	R元(2019)	R2(2020)	増減
とちぎの元気な森づくり県民税収相当額等	881, 202	867, 971	▲ 13, 231
寄附金	3, 371	5, 486	2, 115
利子	107	238	131
計	884, 680	873, 695	▲ 10, 985

2　とちぎの元気な森づくり事業　　1, 251, 576 千円

【財源内訳】

とちぎの元気な森づくり基金繰入金　　646, 936 千円

国庫補助金等　　604, 640 千円

※金額は千円単位四捨五入のため内訳が合わない場合がある

Ⅱ　とちぎの元気な森づくり県民税事業の評価

ⅱ　各事業の実施状況

事業区分	計画 事業量	計画 事業費（千円）	計画 うち県民税	実績 事業量	実績 事業費（千円）	実績 うち県民税	備考
1 とちぎの元気な森づくり未来の森整備事業	425ha	958,678	442,494	386ha	870,114	415,972	
(1)再造林・樹種転換促進事業	425ha	938,359	422,175	386ha	852,628	398,486	
(2)次世代林業技術検証事業	1式	6,598	6,598	1式	6,578	6,578	
(3)事業推進費	1式	13,721	13,721	1式	10,908	10,908	
とちぎの元気な森づくり木造・木質化等事業	(2件)	(20,000)	(20,000)	(2件)	(20,000)	(20,000)	＜繰越理由＞ 台風災害の影響による町有林からの原木調達の遅延等 ※ R2事業からは譲与税事業へ移行
(1)木造・木質化支援事業	(2件)	(20,000)	(20,000)	(2件)	(20,000)	(20,000)	
2 とちぎの元気な森づくり里山林整備事業	4,179ha	260,140	222,815	2,532ha	222,617	132,557	＜計画-実績の差異について＞ 整備事業：当初計画を上回る要望による増 管理事業：活動団体の情勢等による減 （再結成困難・自立による支援不要）
(1)里山林整備事業	458ha	74,090	36,765	856ha	136,798	48,180	
(2)里山林管理事業	3,721ha	186,050	186,050	1,676ha	85,819	84,377	
3 とちぎの元気な森づくり森林所有対策事業	(2市町) 3市町	(10,434) 132,323	(4,614) 66,199	(2市町) 3市町 [4市町]	(10,434) 110,911 [80,875]	(4,614) 56,292 [38,901]	＜繰越理由＞ R元～2：台風災害の影響による調査の遅延 R2～3：国土強靱化等、国の経済対策に呼応し、R3計画の一部を県の２月補正予算に前倒ししたもの
(1)森林組合等地籍整備事業（地籍調査補助）	(2市町) 3市町	(10,434) 119,674	(4,614) 53,550	(2市町) 3市町 [4市町]	(10,434) 100,877 [80,875]	(4,614) 46,258 [38,901]	
(2)森林組合等地籍整備事業（地籍調査単独）	1計画	12,649	12,649	1計画	10,034	10,034	
4 とちぎの元気な森づくり県民会議等事業	－	4,993	4,993	－	6,586	6,586	
(1)とちぎの元気な森づくり県民会議事業	1式	768	768	1式	464	464	
(2)とちぎの元気な森づくり県民普及啓発事業	1式	4,225	4,225	1式	6,122	6,122	
5 とちぎの元気な森づくり地域活動支援事業	－	11,194	11,194	－	10,915	10,915	
(1)森づくりサポート事業	1式	11,194	11,194	1式	10,915	10,915	
計	－	(30,434) 1,367,328	(24,614) 747,695	－	(30,434) 1,221,142 [80,875]	(24,614) 622,322 [38,901]	※ 表中上段カッコ書き(　　)はR元からR2への繰越額， 下段カッコ書き[　　]はR2からR3への繰越額（外数） ※ 金額は千円単位未満四捨五入のため内訳が合わない場合がある

1 とちぎの元気な森づくり未来の森整備事業

◆ 事業実績

事業量	整備面積	386 ha ※植栽面積
事業費		870,114 千円（うち県民税 415,972 千円）

◆ 事業内容

(1) 再造林・樹種転換促進事業（国庫補助事業の施行地を含む）

① 造林事業

針葉樹の皆伐後の地拵え、植栽、下刈りを行い、針葉樹の再造林及び、広葉樹への樹種転換を進めました。

区　分	面　積	市　町
地拵え、植栽	386ha	15市町
下刈り	1,120ha	16市町

② 路網整備事業

植栽を行うための作業道を開設し、植栽後の下刈りなどの保育管理にも活用しました。

区　分	事業量	市　町
森林作業道	34,986m	7市町

③ 獣害対策促進事業

植栽した苗木への薬剤の散布等によりシカからの食害を防止しました。また、成木の幹にネットを巻いてクマ等による皮剥き被害を防止しました。

区　分	面　積	市　町
食害対策	568ha	8市町
剥皮対策	383ha	5市町

(2) 次世代林業技術検証事業

低コスト林業のための大苗木植栽等の検証を行いました。

(3) 事業推進費

審査等、事業施行のための経費。

1 とちぎの元気な森づくり未来の森整備事業

① 造林事業

③ 獣害対策促進事業

2 とちぎの元気な森づくり里山林整備事業

◆ 事業実績

事業量	整備面積	856	ha
	管理面積	1,676	ha
事業費		222,617	千円（うち県民税　132,557 千円）

◆ 事業内容

(1) 里山林整備事業

① 地域で育み未来につなぐ里山林整備事業

地域の提案による里山林整備の実施により、里山林の価値を掘り起こし、地域の継続的な里山林管理を支援しました。

② 通学路等の安全・安心のための里山林整備事業

通学路等に隣接する里山林の見通しを確保し、安全・安心な環境づくりを支援しました。

③ 野生獣被害軽減のための里山林整備事業

野生獣被害の軽減のため、田畑に隣接する里山林の整備・管理に対して支援しました。

④ 森林・山村多面的機能発揮対策事業

里山林の保全活動に資する里山林の保全・整備活動等に対して国の補助事業と一体となって支援しました。

(2) 里山林管理事業

第１期(平成20～29年度)で整備した里山林の管理活動に対し支援しました。

区　分	面　積	市　町
(1)里山林整備事業	856ha	21市町
① 地域で育み未来につなぐ里山林整備事業	74ha	10市町
② 通学路等の安全・安心のための里山林整備事業	24ha	3市町
③ 野生獣被害軽減のための里山林整備事業	157ha	11市町
④ 森林・山村多面的機能発揮対策事業	602ha	19市町
(2)里山林管理事業	1,676ha	21市町
計	2,532ha	25市町

※ 面積は、四捨五入のため内訳と計が一致しないことがある

※ 市町計は、実市町数

2 とちぎの元気な森づくり里山林整備事業

① 地域で育み未来につなぐ里山林整備事業

箇　　所：真岡市磯山
活動団体：ふれあいの森いそやま

③ 野生獣被害軽減のための里山林整備事業

箇　　所：茂木町上後郷
活動団体：上後郷むらづくり協議会

② 通学路等の安全・安心のための里山林整備事業

箇所：宇都宮市上小池町　活動団体：篠井地区ゆたかなまちづくり協議会

整備前

整備後

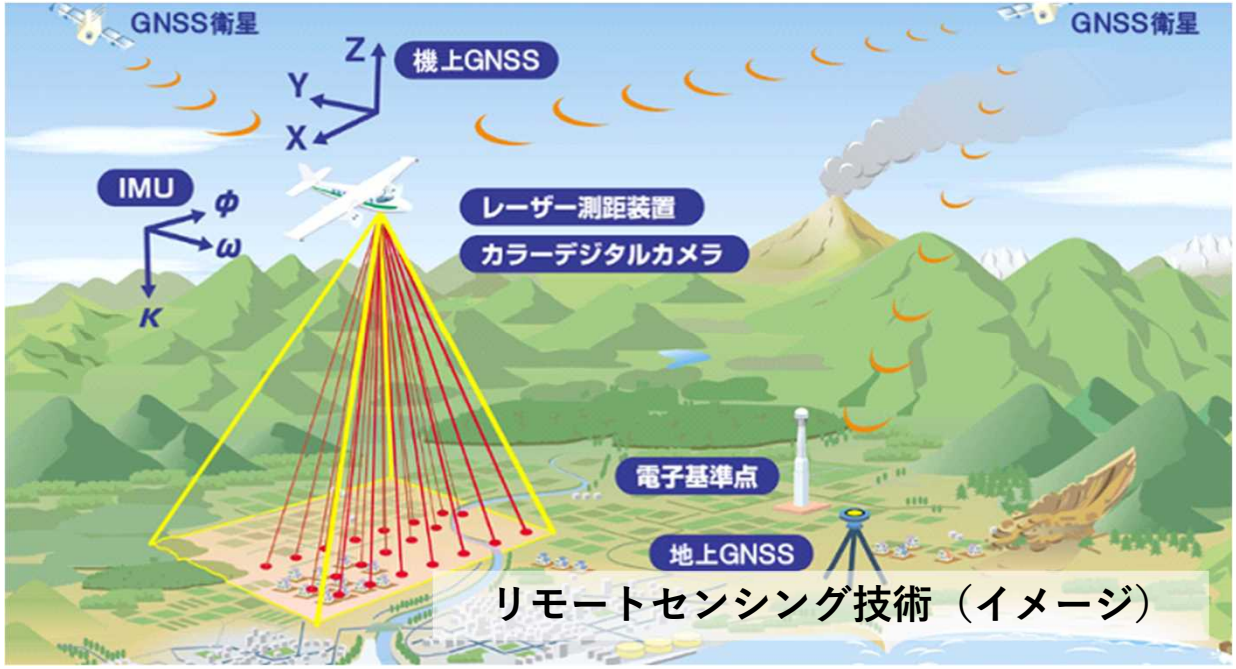
3 とちぎの元気な森づくり森林所有対策事業

◆ 事業実績

事業量	地籍調査	3 市町（ 3 地区 818 ha ）
事業費		110,911 千円（うち県民税 56,292 千円）
		［繰越：80,875 千円（うち県民税 38,901 千円）］

◆ 事業内容

境界等の不明確な森林について、栃木県森林組合連合会によるリモートセンシング技術（航空レーザ計測）を活用した地籍調査事業（３市町（大田原市、茂木町、那珂川町）３地区、818ha）のほか、拡充する2,000haの事業計画策定に対し、支援を行いました。



リモートセンシング技術（イメージ）

地権者との打合せ（イメージ）

那須烏山市

4 とちぎの元気な森づくり県民会議等事業

◆ 事業実績

事業量	新聞等公告	3 件
事業費		6,586 千円

◆ 事業内容

(1)とちぎの元気な森づくり県民会議事業

県民協働の森づくりの推進母体である「とちぎの元気な森づくり県民会議」の活動を支援しました。

区　分	回　数
定期総会	1 回
活動数	1 回

(2) とちぎの元気な森づくり県民普及啓発事業

県民税事業の成果等について新聞広告等をとおして普及啓発等を行いました。

区　分	回　数
新聞広告	1 件
テレビ公告	1 件
ラジオ広告	1 件
計	3 件

懸垂幕掲示
（本庁舎南館）

5 とちぎの元気な森づくり地域活動支援事業

◆ 事業実績

事業量	1 式
事業費	10,915 千円

◆ 事業内容

(1) 森づくりサポート事業

里山林等の持続的な保全のための森林ボランティアの育成・確保等に取り組みました。

・森づくり活動に関する情報の収集・発信
・森林サポーター（森林ボランティア）の募集登録
・ボランティア活動に必要な資機材の貸し出し
・里山林整備の人材育成講座の開催（とちぎ里山塾）
・企業等による森づくりの活動支援（森づくりコミッション）
・企業と森づくり活動団体とのマッチング
（とちぎ地域・森づくりフォーラム）

とちぎ里山塾(栃木市皆川)

森づくりフォーラム
（配信映像撮影：市貝町取組）

iii　森林の若返りと公益的機能の効果

1 森林の若返りの実績

10年間の計画6,000haのうち、令和２(2020)年度は386haの森林の若返り(植栽)を実施

区　　分	事業量	
	計画 a	実績 b
森林の若返り（植栽）	425 ha	386 ha
累計（3年目/10年）	1,185 ha	1,102 ha

① 年度事業の実行率	(b/a)	90.8%	
② 森林の若返りの目標達成度	(b(累計)※/6,000)	18.4%	《※10年中3年目累計》
	(b(累計)/ a(累計)※)	93.0%	《※10年中3年目までの目標累計》

2 森林の若返りによる公益的機能の効果

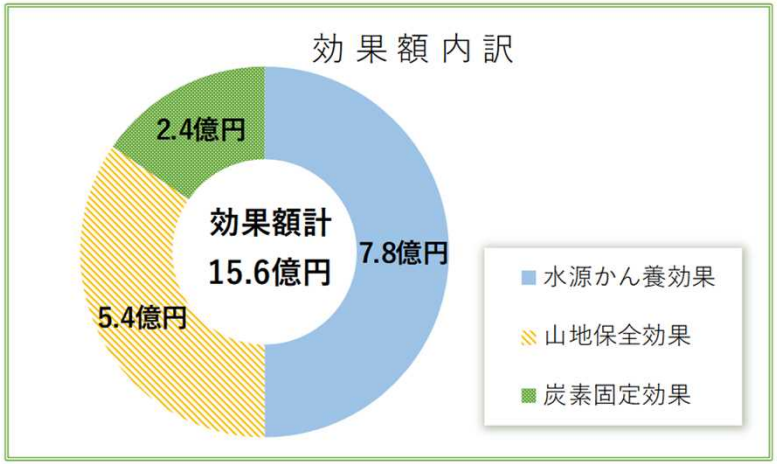
主な公益的機能

- **水源かん養効果(洪水調節効果)**
  - 森林の土壌が、降水を貯留し、 河川へ流れ込む水の量を平準化して洪水、渇水を防ぎ、さらにその過程で水質を浄化する効果
- **山地保全効果(土砂流出防止効果)**
  - 森林の下層植生や落葉落枝が地表の浸食を抑制する効果
- **樹木等による炭素固定効果**
  - 森林の二酸化炭素を吸収し、炭素を貯蔵しながら成長する、地球温暖化防止に貢献する効果

令和２(2020)年度に森林の若返り(植栽)を386ha 実施しました。

→ 事業実施後、60年間(※)に15.6億円の効果が発揮されます。
（※スギ林が更新を行うまでの期間：公共事業の評価準用）

植　栽



効果額の算定は「林野公共事業における事業評価マニュアル」による

2 森林の若返りによる公益的機能の効果

主な公益的機能の効果

水源かん養効果（洪水調節効果）

森林の若返り386haでは、雨水を地中に浸透させ、
大雨の時間当たり32,000㎥の水の流出を調節

32,000 ㎥ ：学校のプール約80個分

※ 学校の25mプールは約400m³

1 時間あたりプール約80個分にあたる水の流出を調節する働きが高まりました

60年間の効果額：7.8億円
（効果を治水ダムの年間減価償却費で計算）

山地保全効果（土砂流出防止効果）

森林の若返り386haでは、
年間6,400㎥の土砂流出を防止

6,400㎥ ：大型ダンプ約1,200台分

※ 森林整備保全事業標準歩掛
：10tダンプの土砂積載量は 1 台当たり5.3㎥

年間大型ダンプ約1,200台分の土砂流出を防止する働きが高まりました

60年間の効果額：5.4億円
（効果を砂防ダムの建設コストで計算）

樹木等による炭素固定効果

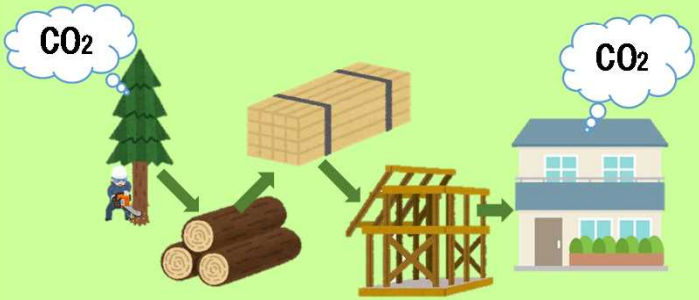
森林の若返り386haでは、CO_2換算で
年間1,800tCO_2の炭素が森林に固定

1,800 tCO_2 ：一般家庭約450世帯が年間に排出する二酸化炭素

※ 温室効果ｶﾞｽｲﾝﾍﾞﾝﾄﾘｵﾌｨｽ：１世帯が年間に排出するCO_2は3,971kgCO_2（2019）

毎年、一般家庭約450世帯が排出する炭素を森林に固定する働きが高まりました

60年間の効果額：2.4億円
（効果を二酸化炭素排出量取引価格で計算）

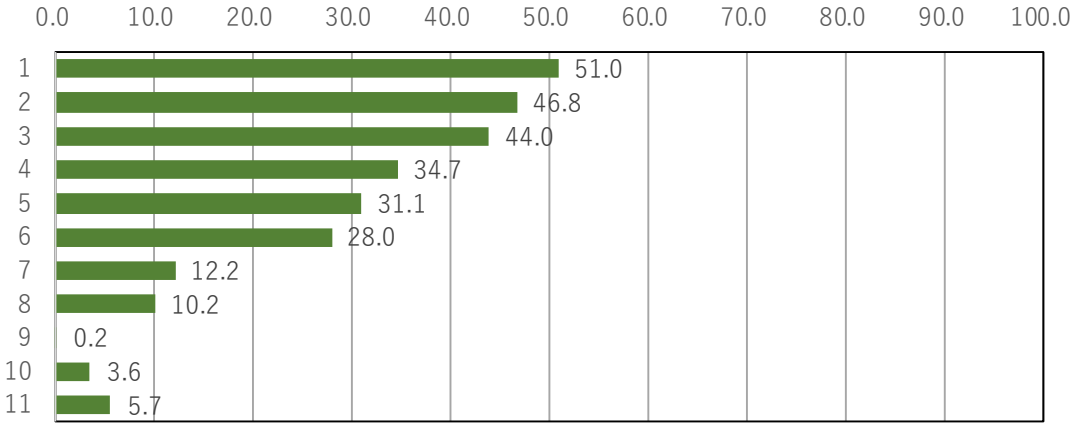


【森林の重要なはたらき】

森林には、様々な働きがあります。あなたが、特に重要だと考える森林の働きはどれですか。

次の中から３つまで選んでください。［n=1,288］

		R３　%	(R２)
1	二酸化炭素を吸収し、地球温暖化を防止する働き	51.0	(52.8)
2	洪水などの災害を防止する働き	46.8	(55.0)
3	水資源を蓄える働き	44.0	(48.0)
4	野生動植物の生息の場としての働き	34.7	(35.2)
5	空気をきれいにしたり、騒音を和らげるなどの環境を快適に保つ働き	31.1	(32.7)
6	自然に親しみ、癒しや安らぎの場としての働き	28.0	(29.1)
7	生活に必要な木材や燃料チップ、きのこなどを供給する働き	12.2	(13.1)
8	自然と人との関わりを学ぶなど教育の場としての働き	10.2	(8.3)
9	その他	0.2	(0.5)
10	わからない	3.6	(2.9)
11	無回答	5.7	(1.5)

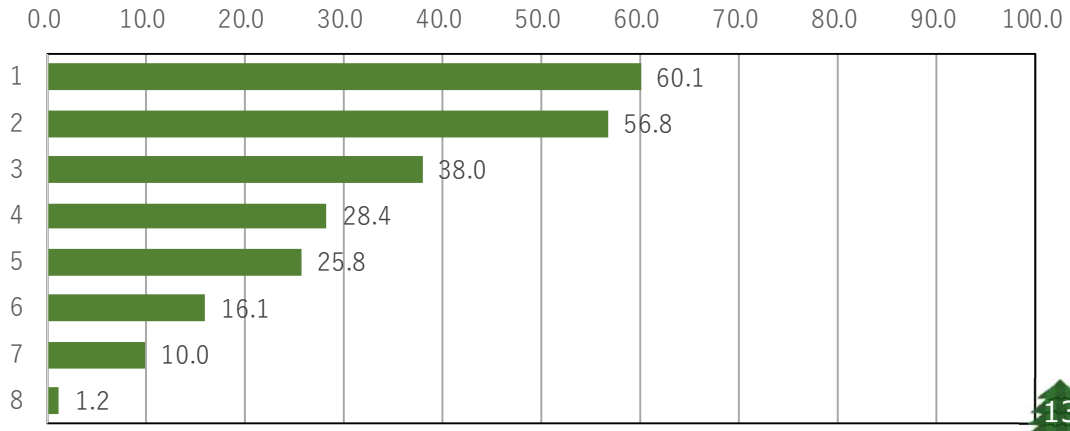


【とちぎの元気な森づくり県民税で特に重要と思う取組】

栃木県では、「とちぎの元気な森づくり県民税」を活用して、本県の森林を元気な姿で将来へ引き継いでいくための様々な取組を行っています。

「とちぎの元気な森づくり県民税」の取組の中で、あなたが特に重要だと思うものはどれですか。次の中から３つまで選んでください。［n=1,288］

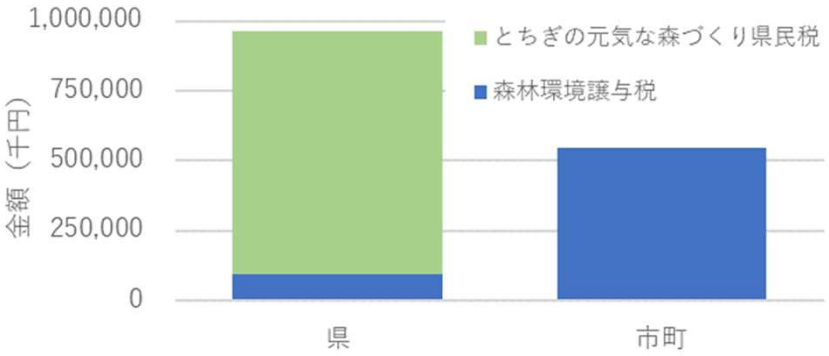
		R３　%	(R２)
1	通学路等の見通しを良くしたり、野生獣を人里に近付けないようにするため、身近な里山林の整備を支援すること	60.1	(62.2)
2	森林の若返りを進めるため、皆伐後の植栽や下草刈り、獣害対策などへの支援をすること	56.8	(54.2)
3	所有者や境界が不明な森林を適正に管理していく仕組みをつくること	38.0	(35.0)
4	里山林で活動するボランティアの育成や、地域での森づくり活動等への支援をすること	28.4	(27.5)
5	手入れのできない針葉樹林を管理の容易な広葉樹林へ転換していくこと	25.8	(25.2)
6	森林の働きや「とちぎの元気な森づくり県民税」の取組を普及啓発すること	16.1	(17.1)
7	わからない	10.0	(8.9)
8	無回答	1.2	(3.8)



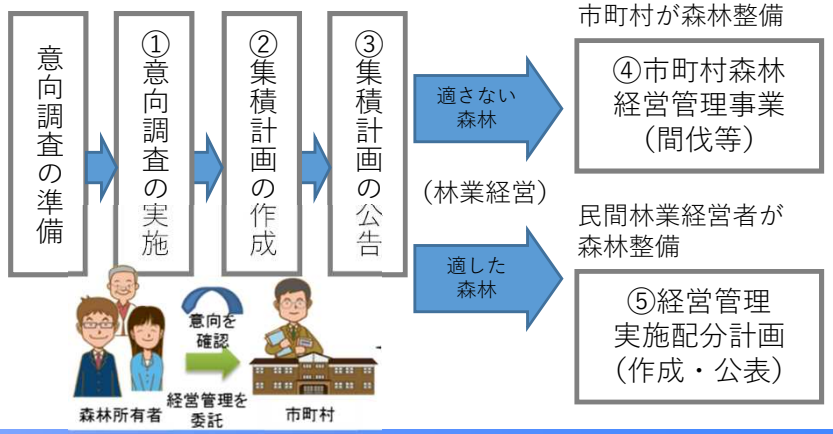
Ⅲ　森林環境譲与税事業の実施状況

ⅰ　譲与額

	森林環境譲与税	（参考）県民税税収
県	96,084	867,971
市町	544,479	
計	640,563	867,971



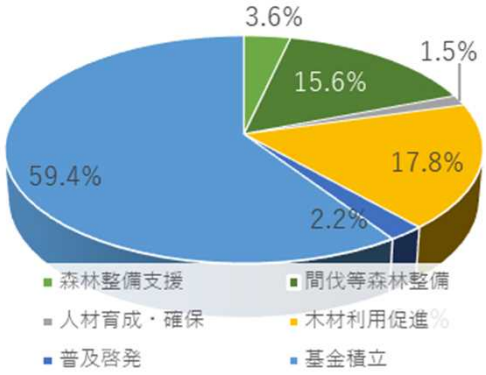
～ 参考：森林経営管理制度の流れ ～



ⅱ　森林環境譲与税事業の実施状況

事業費執行率

	譲与額 A	執行額 B	差額(基金積立) A-B	割合 B/A
県	96,084 千円	83,392 千円	12,692 千円	86.8 %
市町	544,479 千円	176,906 千円	367,573 千円	32.5 %
計	640,563 千円	260,298 千円	380,265 千円	40.6 %



県事業取組事例
木材利用促進
：保育園園舎

県事業

譲与額　96,084　千円

区分		金額	構成比
市町の森林整備支援	実践型活動支援事業費（市町職員への研修）	2,186 千円	2.3 %
	森林情報共有化推進事業費（森林クラウドシステムの整備）	20,778 千円	21.6 %
	小計	22,964 千円	23.9 %
森林整備促進策	人材の育成・確保	3,804 千円	4.0 %
	木材利用促進	56,623 千円	58.9 %
	小計	60,428 千円	62.9 %
計		83,392 千円	86.8 %

基金積立金の執行方針

県	森林整備支援		森林経営管理法に基づく市町による森林整備の支援に備えた積立
市町	森林整備	19 市町	今後増大すると予測される森林経営管理法に基づく市町村自らによる森林整備に備えた積立
	森林整備促進	8 市町	庁舎等公共施設の木造・木質化等に備えた積立

ii　森林環境譲与税事業の実施状況

市町事業　　譲与額　544,479　千円

区分			市町数	金額	構成比
間伐等の森林整備	森林経営管理制度	意向調査・集積計画等	16 市町　64 %	42,403 千円	7.8 %
		間伐等	7 市町　28 %	45,783 千円	8.4 %
	その他		5 市町　20 %	11,647 千円	2.1 %
	小計（※実施市町数は区分計とは一致しない）		18 市町　72 %	99,833 千円	18.3 %
森林整備促進策		人材の育成・確保	2 市町　8 %	5,751 千円	1.1 %
		木材利用促進	7 市町　28 %	57,400 千円	10.5 %
		森林整備の普及啓発	15 市町　60 %	13,922 千円	2.6 %
	小計（※実施市町数は区分計とは一致しない）		16 市町　64 %	77,073 千円	14.2 %
計			22 市町　88 %	176,906 千円	32.5 %

間伐等の森林整備　森林経営管理制度等

集積計画策定のための
森林の現地調査

市町管理森林の間伐施業

森林整備促進策　人材の育成・確保

学生へのチェーンソー講習会

安全衛生装備品購入費用の一部支援

森林整備促進策　木材利用促進

ベリーウッドトイ：木のおもちゃ2種類

林地残材等のﾊﾞｲｵﾏｽ発電燃料への有効利用促進

Ⅳ　とちぎの元気な森づくり県民税事業と森林環境譲与税事業の一体的評価

ⅰ　課題へ対応した両税の取組

主な課題

- ✓人工林の高齢化・大径化
- ✓新たな木材需要の創出など森林資源の多様な活用
- ✓需要量等に応じた人工林のすみ分け・樹種転換等
- ✓野生獣被害の増加
- ✓所有者・境界不明森林等の増加
- ✓管理放棄森林の公益的機能低下
- ✓林業人材の高齢化と担い手不足
- ✓生活様式の変化に伴う木材需要構造の変化

両税の取組内容

森林整備	経営林	皆伐・再造林の促進（未来の森整備）
		獣害対策（未来の森整備）
		地籍調査（森林所有対策）
	非経営林	間伐等の森林整備
	里山林整備	
市町の森林整備支援		
森林整備促進策	人材育成	
	木材利用促進	
	森づくりに関する普及啓発	
	県民税のＰＲ	

※ 緑色セル：県民税事業，青色セル：譲与税事業
（里山林整備については、実施主体による）

【両税を活用した森林整備イメージ】

○ とちぎの元気な森づくり県民税

自然条件などがよく
林業経営に適した森林

所有者（個人・法人）による
自立的な管理

（主な事業）
・伐採更新の促進（植栽、獣害対策等）
・所有者対策など（地籍調査）

森林資源の循環利用の促進と若返り

○ 国の森林環境譲与税

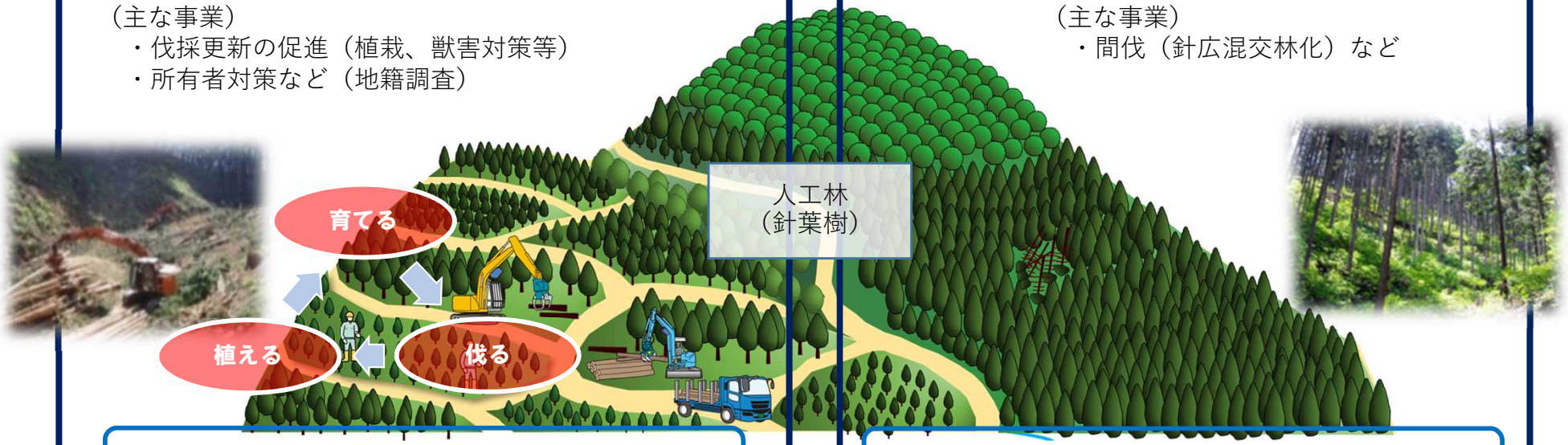
自然条件などが厳しく
林業経営に適さない森林

市町村による
公的な管理

（主な事業）
・間伐（針広混交林化）など

管理放棄された森林の適正な管理

対象の森林



両税の活用による森林の公益的機能の持続的な発揮

ii　両税事業の一体的評価

取組内容			県民税事業	森林環境譲与税事業	
				県事業	市町事業
森林整備	経営林	皆伐・再造林の促進（未来の森整備）	245,610 千円	-	- -
		獣害対策（未来の森整備）	170,362 千円	-	- -
		地籍調査（森林所有対策）	56,292 千円	-	- -
	非経営林	間伐等の森林整備	-	-	18 市町 99,833 千円
	里山林整備	市町	-	-	0 市町 0 千円
		団体	132,557 千円	-	- -
市町の森林整備支援			-	22,964 千円	- -
森林整備促進策	人材育成		-	3,804 千円	2 市町 5,751 千円
	木材利用促進		-	56,623 千円	7 市町 57,400 千円
	森づくりに関する普及啓発		-	0 千円	15 市町 13,922 千円
	県民税のＰＲ等		17,501 千円	-	- -
	その他		-	0 千円	0 市町 0 千円
	計		622,322 千円	県・市町計	260,298 千円

○　とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会委員名簿

（五十音順）

No.	氏　名	所　属	備　考
1	飯　田　絵　里	アトリエ・ビーンズ　代表	
2	石　川　尚　子	栃木県経済同友会・オリオンコンピュータ株式会社代表取締役	委員長職務代理
3	大　貫　剛　久	栃木県林業振興協会　副会長	
4	阪　田　和　哉	宇都宮大学　准教授	委員長
5	豊　島　香　折	公募委員	
6	二ノ宮　次　郎	二宮木材株式会社　代表取締役社長	
7	深　谷　卓　男	公認会計士・税理士	
8	福　島　泰　夫	那珂川町長　（町村会）	
9	屋　代　ゆき子	栃木県林業振興協会・こもれびの会会員	

（任期：令和３(2021)年６月１日～令和６(2024)年５月31日）

お問合せ先

栃木県環境森林部環境森林政策課

TEL：028-623-3302
FAX：028-623-3259
e-mail：kankyo-shinrin@pref.tochigi.lg.jp

とちもりくん